

事業主の退職金 小規模企業共済

個人事業主・会社等の役員の方が事業をやめられる場合に備える、「小規模企業の経営者の退職金制度」です。
* 個人事業主の共同経営者の方も、ご加入いただけます。

- 一年で最高84万円の所得控除ができます。
毎月の掛金は1,000円から70,000円の範囲内で自由にご選べます。
- この制度は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が法律に基づいて運営しています。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

URL <https://www.smrj.go.jp/kyosai/skyosai/index.html>

●資料請求や制度の詳細説明をご希望の際は、当商工会議所までご相談ください。



《中小機構委託団体》
橋本商工会議所 ☎ 0736-32-0004

LP ガス・住宅設備機器・エネファーム
太陽光発電システム・リフォーム

はぶ株式会社

橋本市東家4丁目18-23(市役所東へ300m)
TEL (0736) 32-1208(代表)
フリーダイヤル 0120-32-1209

人生のフィナーレを、満足していただくお手伝いを、明日につながる架け橋を。

- 華の会に入会していただくと
入会金無料 年会費無料 葬儀セット価格 **10%割引**
- if 共済に入会していただくと
入会金 10,000円 年会費無料 さらに **5%割引**
- 花平直営の花店から新鮮なお花を直送
だから **高品質で豪華な祭壇**

メモリアルホール **花平市脇**
橋本市市脇4丁目8-10
☎ 0120-4242-78

保険なんてどこで契約しても同じと思いませんか？ 私たち保険の専門家にご相談ください。

保険の総合アドバイス ほけんの相談室

保険の無料相談 **受付中** 地域密着主義!

保険の専門家 からあなたに **最適な保険** をご提案いたします!

こちらまでお気軽にお問合せください

よしの保険
Yoshi no Hoken
〒648-0073 橋本市市脇4丁目1-20
定休日:日曜・祝日

TEL **0736-33-3987** サブハナ

よしの保険 検索



5階会議室



5階小会議室



7階小会議室

キッチンカー使用者募集!!



橋本商工会議所青年部
橋本商工会議所HPより提出書類の様式をダウンロードできます



使用者の決定については、橋本商工会議所青年部において、書類審査・土・日・祝日を除きます。面談を実施し、厳正なる審査の上、決定します。

橋本商工会議所青年部では販路開拓や起業の契機を創出することを目的にキッチンカー貸出事業を実施いたします。応募いただける方は、必要書類をご用意いただき橋本商工会議所青年部事務局まで持参・郵送にて提出して下さい。

電話 三三〇〇〇四

●公募期間
四月一日～十一月八日
※期間内であっても、予算上限に達した時点で公募終了となります。
詳しくは「販促ツール作成支援補助金ホームページ」をご確認ください。

県内中小企業者がウェブ媒体を活用した事業活動を行うにあたり、ウェブサイト等の作成又は改良を支援する補助金が申請できます。

令和四年度販促ツール作成支援補助金のお知らせ

商工会館5・7階 貸室利用できます

橋本商工会議所では、お気軽にご利用ください。お気軽にご利用ください。

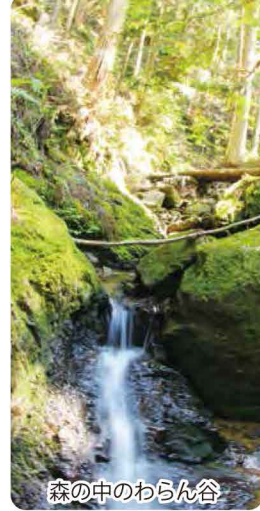
橋本商工会議所 青年部キッチンカー 貸出事業のお知らせ

橋本商工会議所青年部では販路開拓や起業の契機を創出することを目的にキッチンカー貸出事業を実施いたします。応募いただける方は、必要書類をご用意いただき橋本商工会議所青年部事務局まで持参・郵送にて提出して下さい。

電話 三三〇〇〇四

IT導入補助金のご案内

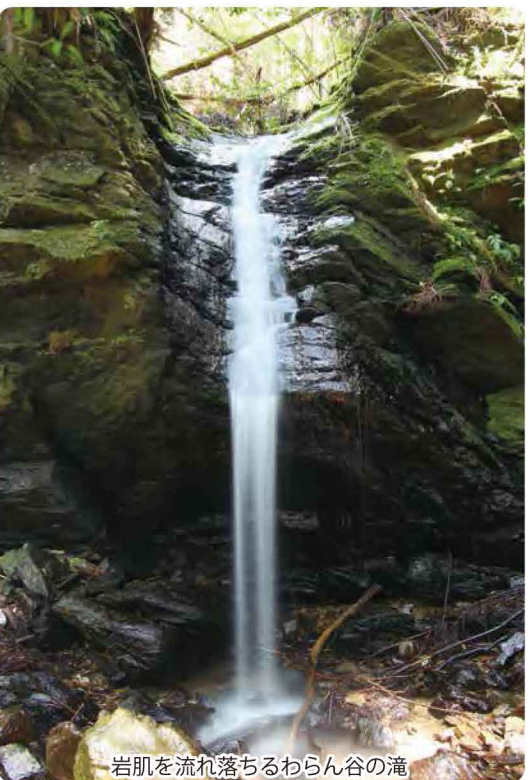
中小企業・小規模事業者等が自社の課題やニーズに合ったITツールを導入する経費の一部を補助すること、業務効率化・売上アップをサポートする補助金が申請できます。通常枠・デジタル化基盤導入枠の二種類の申請方法がありますので、事業目的に合った方法を検討してみてください。



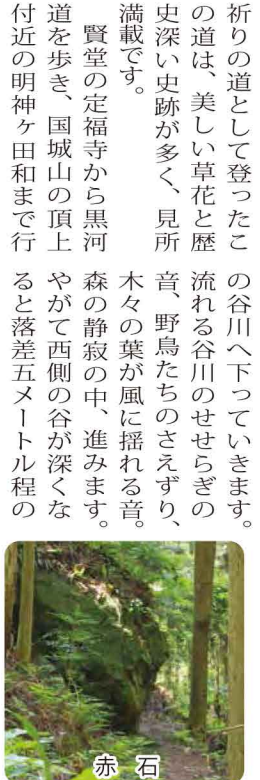
橋本のいいところ紹介

黒河道 明神ヶ田和ららん谷の滝

はしもとぶらり旅



岩肌を流れ落ちるわらん谷の滝



赤石

橋本地区の名所・観光スポットなど、ちょっといいところを順次紹介していきます。夏も過ぎ、日差しが増してきました。晴れた日、涼しい森の中を歩いてみませんか。今回は世界遺産の道「黒河道」の一部、わらん谷を中心にご紹介します。

黒河道は高野七口に通じる高野参詣道のひとつで、二〇一六年に紀伊山

「わらん谷の滝」が目印になります。その姿は清らかで、霊場高野山へ向かう旅人の心を癒してくれます。滝から少し南へ歩くと、黒河道に突き出した巨石の「赤石」。行き交う旅人の目印となったそうです。心静かになれる場所「黒河道」。続きはまた後日、訪れたいと思います。